

“世界で唯一のレコード針”生産



ナガオカのオーディオ関連商品。ベストセラーや新製品などバリエーションは豊富だ

■企業データ
山形県東根市萱代1600番地。■0231-42-
1135。昭和44年設立。人工ダイヤモンドを接合し
たレコード針づくりで養った微細加工の技術力
で、超硬合金刃物や測定機器用端子、ダイヤモ
ンド工具などを製造・販売する。<http://www.nagaoka.co.jp/>

があり、今年発売した高級イヤホンの美音シリーズは、広範囲な音源をカバーするところ好評です」

――会社の切削加工技術を生かした新商品を発売する

「金属よりも硬い人エールビーを音響フィルターに使った世界初のイヤホンを発売します。部品そのものの共振が減り、不要な音が出にくくなる効果があります」

「5月にドイツのミュンヘンであったオーディオショウで世界のプレーヤー、オカラさん、頑張ってください」と声をかけられました。プレーヤーを作るメーカーは、欧洲だけでも10社近くあります。音を拾うところは、オカラは当社だけしかないと。オカラは、多角化して他の事業を伸ばすことで、できるだけこれを続

面した「荒瀬は老れい回顧
店街」の一角落に店はある。」
レカツ定食（丼裏、50円）
円）をはじめ、地元の野菜、
海の幸を使ったミックスフニ

みちのく

芸達者なミュージシャン、桑田佳祐さんがパナマ帽をかぶり、浴衣姿で歌う「コニ子さん」。聞き取りにくい歌詞の中で唯一聞き取れたのが、「『ナガオカ針』しか記憶にねえよ」。

このナガオカこそ、人工ダイヤモンドを使ったレコード針を世界で唯一、生産する小さな世界的メイカーダ。長さ1ミリ、直徑0・25ミリと微細な接合針は、チタンにダイヤモンドを載せ、銀蝶で接合し研磨してつくる。

レコード針には丸針とダエン針の2種があるが、「ダエン針は、レコードの溝により深く入り、音を再生させます」と社長の長岡香江

ナガオカ (山形県東根市)

「歴代社長が、レコード文化を絶やしてはいけないという思いで生産を続けてきた」と長岡社長。女性経営者ならではの新しい“気付き”で発売した美音シリーズが好評で、今後も技術力を生かしながら新製品づくりで勝負をかける。

技術生かし新製品を

—蓄積してきた技術で
新製品が増えている
「人工ダイヤモンド」を使
つたレコード針の技術を生
かして、超硬合金加工やマ
ジック、部品等にまで分
岐して、更に技術を発展さ
せています。

「創業者の長岡栄太郎
が、時計の軸受け石を作
ったのが始まりで、当時
は、時計の軸受け石を作
る会社を設立したのが始
まりです。当時の進駐軍
から需要があり、そこで
石を使ったレコード針の製
造を始めたのが、現在の
技術の始まりです。

「肉汁を蓄えた分厚いヒレ、ツが2枚。腹を空かせた若者が無心で頬張る。豪華な定食を食べ終えて一息つき、ふし価格表を見る。「こんなにいいのだから」と、不思議な覺えである。

技術生かし新製品を

長編卷之六

菊一商店 (宮城県亘理町)
熱々のみそ汁にほかほかの
ご飯、鮮やかなお新香、シャ
キンヤキのキャベツなど、
ワンコイン

中大學生會（中大學生聯合會）總會長 周澤輝

◇蒼龍「インテベル
コンペ」(13~18日、
仙台市青葉区の晩翠画廊) 山梨県
のワイン蔵元「蒼龍葡萄酒」のワ
インラベルを選ぶコンペティショ
ン参加作品を展示。東北生活文化
大、宮城教育大、宮城野高等など5
校から出展された四十数点が並
ぶ。3種類のワイン各賞の受賞作
3点が選ばれ、今年秋に発売の新
酒のラベルに採用される=写真
(昨年度受賞の中田シユナさんの
作品)。☎022・713・62
30。

• 大學生 11500 人、中學生以下無
料。 2017・777・11588
5。

◇企画展「松本満史展」（25日まで、青森市の県立郷土館）旧本造町出身で、大正から昭和中期にかけて活躍した洋画家。フランス渡航中のスケッチなど約60点を展示。入場料は一般310円、高校

◆マリンアユスター
青森 n 大湊・大湊海軍まつり（10日、むつ市の海上自衛隊大湊基地、大湊航空基地）艦艇、航空機の見学や曳船による湾内クルーズ、「大湊海自カレー」などグルメブースが多数出店。水源地公園では「大湊海軍まつり」も開催。

「標本園」なども設置。25日にはちのく鹿踊大会、7月2日にあらめ祭り神樂大会が開かれる。入園料は大人510円、小学生、高校生250円。一迫鶴光協会（同上）一迫総合支所市民サービス課内

下と市内在住の65歳以上は無料。
△企画展「続・なつ
かしの盛岡」建物編
（12日まで、盛岡市の盛岡て
がみ館）明治から昭和にかけて発
行された、盛岡の建築物が写され
た絵葉書＝写真＝や写真などの、
関連資料を展示紹介。懐かしい盛
岡の記憶を呼び起こす。
△没後90年 萬鐵五郎展（18日
まで、盛岡市の県立美術館）萬鐵
五郎記念美術館と初めて共同開催
する20年ぶりの大回顧展。修業時
代から晩年までの代表的な油彩作

町の生活工芸館)全国から職集い、自然素材を使った作品売する。竹で編んだザルや木スプーン、皮革や染織、漆など、さまざまな工芸品を売る0のテントがブナ林の中に並入手困難な町特産の「奥会津組み細工」のカゴなども出品る。午前9時~午後4時(11日